

生活の安全について考えよう

新年度が始まりました。新たなクラスメイトと新たな教室で新たな生活がスタートします。日々の生活の中では、いつ大きな災害があるか分かりません。非常時に自分の身を守るためにも、日ごろから安全について考え、いざというときに落ち着いた行動ができるようにしていきましょう。

1 安全指導と避難訓練の目的と心構え

(1) 目的

- ・いざというときに自分の身を自分で守れるようになること。
- ・学校での緊急時に生徒全員が安全に避難し、身の安全を確保できるようになること。
- ・普段の生活の中にひそむ危険について理解し、事件や事故に巻き込まれるのを予防できるようになること。

(2) 心構え

- ・いざというときに自分の身を守れるのは自分だということを理解し、実際の緊急事態を想定して取り組む。
- ・一人の勝手な行動が集団を危険にさらしてしまう可能性があることを理解し、真剣に取り組む。
- ・安全指導においては学校生活外の普段の生活の内容も含むため、一人一人がしっかりと理解する。

2 非常時の基本的な考え方

災害をはじめとする“危険”に遭遇してしまったときには、適切な行動を選択し、実行できるかが最も重要です。非常時の基本的な考え方を理解し、自分の身を守れるようにしましょう。

非常時の基本的な考え方

私たちの身の回りには様々な危険があります。震災の際には、「揺れ」「地割れ」「火災」「周囲の物が転倒する」、また震災以外にも「事故」「誘拐」「薬物」「通り魔」など、例を挙げればきりがありません。以下の基本的な考え方を理解し、自分で考え、危険から身を守れるようになりましょう。

①想定できる危険に対して

⇒危険そうなところに近付かない（例：街灯のない暗い夜道、繁華街、工事現場）

②突然の震災に対して

⇒まずは危険から身を守り、移動ができる状況になったら安全な場所に身を移す。

③悪質な勧誘、不審者に対して

⇒まずは逃げて危険から身を遠ざける。

※まずは自分で判断し危険から身を守りましょう。一時的に安全が確保できたら、大人を頼ること。

3 学校内での過ごし方

学校内で危険を防ぐためにできることはたくさんあります。以下の点を、全員で実行していきましょう。

- ・通行の妨げにならないよう、荷物を整理し、床には何も置かないようにすること。
- ・休み時間には、道具や遊具を正しく使い、きまりや約束を守ること。
- ・廊下や階段は、走らずに右側を歩くこと。また、雨の日には滑りやすくなるため、転倒にも気を付けること。